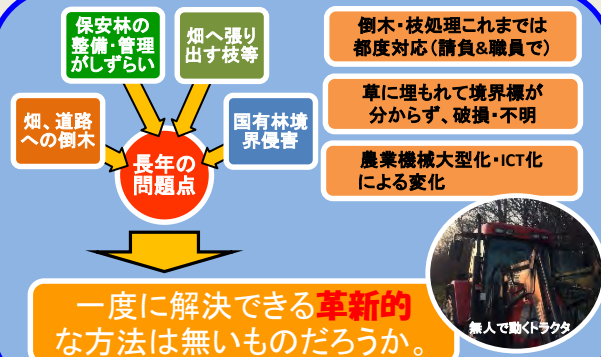


研究の背景・目的

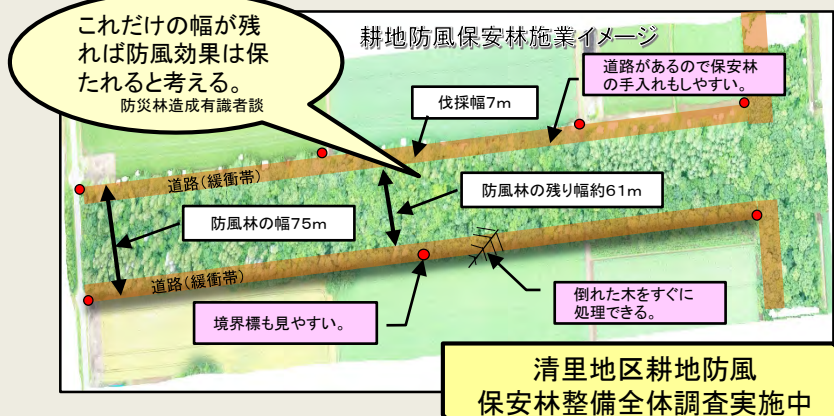
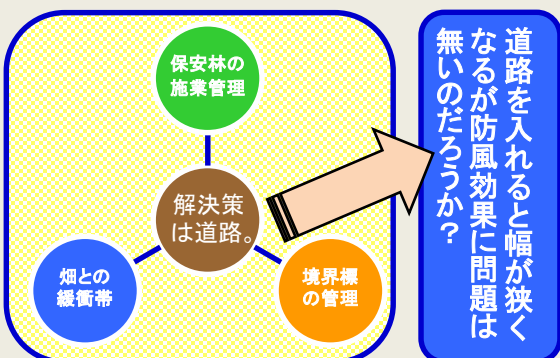
網走南部森林管理署の耕地防風保安林は、小清水町、斜里町、清里町、網走市に跨がり総面積1,185 ha、防風林の延長約146km。



網走南部森林管理署の耕地防風保安林



研究の内容・成果

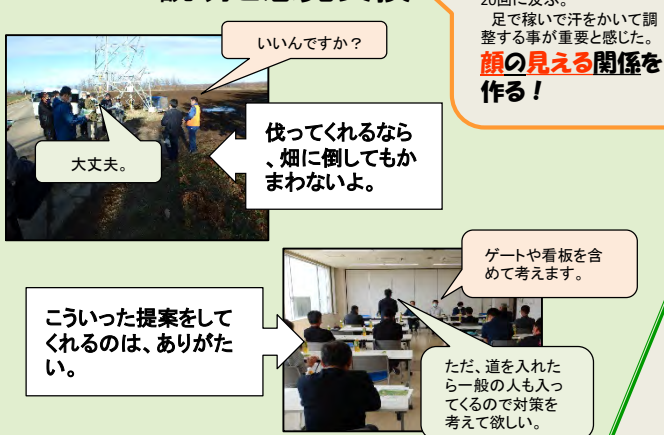


期待される効果

1. 国有林と耕作地の緩衝帯
2. 保安林整備のインフラ
3. 境界標管理（巡検と整備）
4. ICT農業の電波障害軽減
5. 畑地への日陰、雪の吹きだまり軽減

関係者との合意形成

説明と意見交換



今後の展開

令和3年度にモデル林整備と現地検討会を実施！

清里・斜里の農民関係組織、自治体を主体に耕地防風保安林がある小清水・網走の関係団体に声掛けをし、モデル林で検討会を複数回実施して、耕地防風保安林整備のイメージをつかんでもらうことが目的。
（複数回実施するのは、コロナ対策を含め、病害を考慮畑地に大きなインパクトを与えないため。）

そして、ゆくゆくは

- 耕地防風保安林の計画的な道路整備と積極的な森林整備を実施する
- 今後の耕地防風保安林整備方策の資料として活用する（勉強会、検討会等）
- 地域の要望に応え、連携する耕地防風保安林管理を行っていく